

おしゃべりサロン「相互塾」(第103回) <入場無料>

共催：調布市

～ 平和の礎展 2008 関連事業 ～



『市民が語る戦争体験』

老いも若きも大歓迎。Face to Face を大切に！

中国帰国者のまだ終わらない戦後

日時：平成20年8月9日(土) 午後2時～4時

場所：調布市文化会館たづくり 12階 大会議室

語り手：長野 浩久さん(元・中国帰国者の会・事務局長)

中国帰国者問題といえば、NHKドラマの「大地の子」や肉親との涙の再会を思い浮かべる方も多いでしょう。終戦前後の中国旧満州でソ連軍の攻撃や混乱で、日本に帰ることができず中国大陸への残留を余儀なくされた残留孤児・当時13歳以上だった残留婦人、集団自決や虐殺から必死に生き延び、やっとの思いで祖国日本へ帰国しても、満足な援護を受けられず地域社会の中で今なおもがき苦しんでいます。国の貧しい帰国援護施策の中、帰国できた喜びも味わえないまま、個人の努力のみを強いられ孤立している実態が常に報告され続けています。1982年以来そんな帰国者の支援活動を行ってきたのが「中国帰国者の会」です。

なぜ、中国帰国者といわれる人たちが存在し、祖国日本を相手に訴訟まで起こさなければならなかったのか。戦前国策で中国旧満州に送り込まれた開拓団、敗戦時に置き去りにされた“棄民”、祖国日本に帰って日本社会の中で普通に生活することを強く望んでいます。われわれ日本人は、この問題から何を学ばなければならないのか。二度とこのような問題が生み出されないよう、当事者だけの問題としてではなく、社会全体の問題として考えて行けたらと思います。

【 定員：当日先着 150人 】



主催：特定非営利活動法人 調布まちづくりの会

共催：調布市

問合せ先：森下 政信 (TEL&FAX 483-9993)

調布市生活文化スポーツ部文化振興課

(TEL 481-7139)

(ウラへ続く)